

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 1 区分  
 【発行日】平成 19 年 5 月 10 日 (2007.5.10)

【公表番号】特表 2007-502706 (P2007-502706A)  
 【公表日】平成 19 年 2 月 15 日 (2007.2.15)  
 【年通号数】公開・登録公報 2007-006  
 【出願番号】特願 2006-524082 (P2006-524082)  
 【国際特許分類】

**B 0 9 B 3/00 (2006.01)**

**F 2 7 B 5/06 (2006.01)**

【F I】

B 0 9 B 3/00 3 0 2 F

F 2 7 B 5/06 Z A B

【手続補正書】  
 【提出日】平成 19 年 3 月 14 日 (2007.3.14)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

細長い熱分解室を備える熱分解廃棄物処理システムであって、室が、 $U$  を  $10$  として、 $U \times 10^{-6}$  / 未満の熱（線形）膨張係数を有する少なくとも 1 つの支持体によって支持され、少なくとも 1 つの支持体が、セラミック材料またはフェノール材料からなる、システム。

【請求項 2】

少なくとも 1 つの支持体が、室より下に配置される少なくとも 1 つのサドルを備える請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】

少なくとも 1 つのサドルが、 $X$  を 1、5、10、20、30、50、75、90、95、99、および 100 として、室の長手長さの  $X\%$  にわたって延びる請求項 2 に記載のシステム。

【請求項 4】

少なくとも 1 つのサドルが、セラミック材料またはフェノール材料からなる請求項 3 に記載のシステム。

【請求項 5】

室が、少なくとも 1 つの支持体によって吊るされる請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 6】

室が長手に沿って膨張および収縮することを可能にするように、室が少なくとも 1 つの支持体によって支持される請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 7】

$U$  が 7、5、4 のいずれか 1 つである請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 8】

熱分解室を使用して廃棄物を処理する方法であって、

室が処理される廃棄物を含む間、室を加熱することと、

室を加熱する間、

$U$  を  $10$  として、 $U \times 10^{-6}$  / 以下の熱膨張係数を有する 1 つまたは複数の支持体

で室を支持することと、

室の加熱中に供給機構が結合するようには十分湾曲せずに、室が長手方向に膨張することを可能にするような方式で室を支持することとを備える方法。

【請求項 9】

1 つまたは複数の支持体が、室の下に位置するセラミックサドルを備える請求項 8 に記載のシステム。